

私の

オンタイム オフタイム interview

小さな頃から
親しんだ企業で
地元貢献する。



山口店 鮮魚部門
N・Yさん
株式会社ツルヤ

1994年生まれ。上田市出身。拓殖大学政経学部卒業後、2017年入社。ツルヤ山口店の鮮魚部門に配属され、調理や品出しを担当。趣味はアーチェリー。

「地元上田で働きたい」と入社したのは、小さな頃から身近な存在だったスーパーマーケットを運営する「ツルヤ」。充実した研修、働きやすい環境に恵まれて経験を重ね、新鮮な食を地域の食卓に届けています。

仕事内容

所属は店舗の鮮魚部門。魚をさばく調理業務やパックに詰める包装業務、値つけ、品出しなどを担当しています。お客様のリクエストに応じてさばくことも。売り場でお客様の声を聞き、商品に反映することもあります。



株式会社ツルヤ(本社・小諸市)

地元で豊かな「食」を提供する仕事

東京の大学を卒業後、Uターンしようと地元を中心に就職活動をスタート。「食」に携わりたいと食品メーカーや小売店を中心に志望する中で人に接する仕事に興味をひかれ、小さな頃から身近だったスーパーマーケット「ツルヤ」へ入社を決めました。

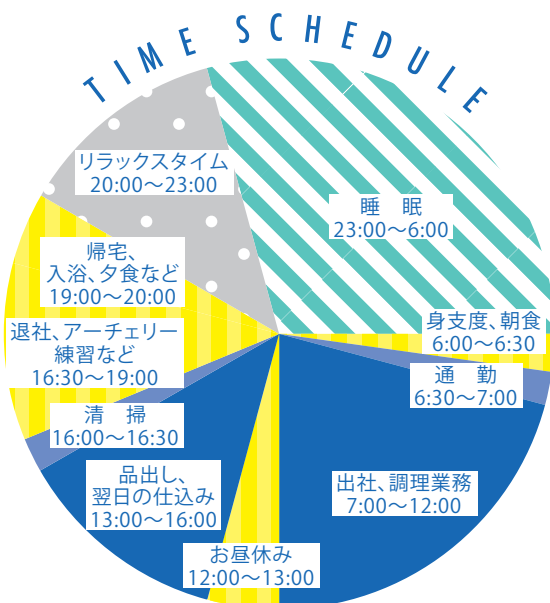
入社後は小諸の本部で約1カ月新入社員研修を受け、挨拶や笑顔といったサービス業の基本を習得。その後、ジョブローテーションで精肉部門やサービス部門などを経験して、現在の鮮魚部門に配属されました。最初は切り身や刺身の盛り付けから始まり、次第に包丁を持たせてもらうようになりました。

それまで魚をさばいた経験がなく不安でしたが、本部でトレーナーによる調理教育を毎月受けたり、店舗で丁寧な指導してもらったりする中で技術や商品知識を身につけ、自信を持って仕事に臨めるようになりました。当社には「3年かけてツルヤ人」という言葉があります。入社2年目を以降も定期的に研修があり、新しい知識や技術を蓄積していくことを大切にしています。そうした環境だからこそ仕事が楽しいし、やりがいを感じますね。

お客様との会話もヒントにして

今は調理場で魚をさばいたりパック詰めや値つけをしたり、店頭に出て品出しをしたりといった業務を担っています。経験を重ねるにつれ、シーズンごとの売れ筋商品が分かるようになってきたり、年末やお盆などの繁忙期は売り場で丸となって売り出したりと、仕事がどんどんおもしろくなってきました。

当社では本部のセントラルキッチンで一括調理するのではなく、各店舗で調理して新鮮なまま提供することにこだわっています。だからこそ、お客様の要望に合わせて切り身の厚さを変える



など柔軟な対応も可能。売り場でお客から「この魚、おいしいからまた買うね」「3人家族だとこのお刺身の量はちょっと多いのよ」などの声をいただき、商品作りに反映することもあります。

先輩や上司は、優しく親身に教えてくれる方ばかり。人間関係のストレスは一度も感じたことがないんです。繁忙期もありますが残業も1分単位できちんと記録されるなど、働きやすい環境です。経験を重ね、食を通じて地域に貢献していきたいですね。

信州上田地域で働く あなたに質問!

Q.上田地域を選んだ理由は?

上田で生まれ育ち、高校時代から市内の練習場でアーチェリーに打ち込んできました。大学時代を過ごした東京も暮らしやすかったのですが、人が多くて「ずっと暮らせる街ではないな」と感じて。自然豊かな上田で趣味のアーチェリーを楽しみながら自分らしい暮らしを送りたいと、当初からUターンを決めていました。

Q.今の会社に決めた理由は?

ツルヤは昔からよく家族で買い物に行っていて、身近な存在でした。置いている商品も新鮮だし、スーパーマーケットの中でも大好きで。地元密着企業なので、地域に恩返ししたい自分の気持ちにもぴったりでした。

Q.上田地域で暮らす良さは?

会社の方針もあり、実家から通える店舗に勤務しているので家族と暮らせるのが嬉しいです。通勤中に移り変わる自然を眺められるのも上田ならではの。街と自然のバランスもちょうどよく、休日はショッピングを楽しんだりアーチェリーの練習場に行ったりしています。



私の オフタイムの過ごし方

休日はアーチェリーに熱中!

高校時代、大学時代と部活でアーチェリー競技に打ち込む日々を送り、大学時代にはインカレに出場しました。社会人になった今も続けていて、毎年国体の県代表選考大会に出場しています。

仕事帰りや休日には上田市内のアーチェリー場へ行き、練習をしています。高校時代から使っている思い出の場所で、自然豊かで気持ちのいい環境ですね。高校時代からのアーチェリー仲間も多く、仕事と気持ちを切り替えてリフレッシュしています。



オフタイムもしっかり取れる職場なので仕事と趣味を両立しやすく、ずっと思い描いていた「故郷で働きながら、自分のペースでアーチェリーを続けていく」という暮らしを

interview



就活生に アドバイス

社会人として働き始めると、慣れないことの連続でたくさんの壁にぶつかります。そんな時、家族や古い友達の存在が大きな支えになってくれる、それが地元で働く良さだと思います。

実践できているのが嬉しいです。

昔からの友人と頻繁に会えるのも地元の良さ。社会人になったばかりの頃は悩むこともありましたが、友人に会うと励まされましたね。

今も休日に友人と一緒に買い物に行ったり、近くの温泉に出かけたりしています。仕事帰りに温泉にゆっくり浸かれるのは、上田の醍醐味ですね。

株式会社ツルヤ 掲載ページは→P.95へ